

千葉県文化芸術振興計画策定に関わる  
市民意識調査報告書  
概要版

令和5年3月

千葉県



## 1. 調査の概要

### 1. 1 調査の目的

市民の文化・芸術及び文化施設等に係る関心や期待、利用実態等を把握し、千葉市の次期文化芸術振興計画の施策の体系（骨子案）検討の基礎資料とすることを目的として市民意識調査を実施した。

### 1. 2 調査の実施方法

#### (1) 調査対象

本調査においては、千葉市における文化・芸術施策に関する実態・意見等を幅広く得るため、4種の調査を実施した。

#### 【市民調査】

千葉市在住の20歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出）2,000人

#### 【文化芸術団体調査】

千葉市内を拠点として活動する芸術・文化団体20団体

#### 【若者調査】

千葉市内の中学校（4校）・高等学校（2校）・大学（12校）

#### 【アーティスト調査】

千葉市にゆかりのあるアーティスト 59人

## (2) 調査時期・調査方法

本調査の調査時期・調査方法は以下の通り。

### 【市民調査】

調査時期：令和4年10月31日～令和4年11月25日

調査方法：調査票を郵送し、以下のいずれかにて回答回収

- ①回答結果を郵送 ②ちば電子申請サービスにてWeb回答

### 【文化芸術団体調査】

調査時期：令和4年10月31日～令和4年11月25日

調査方法：調査票を郵送し、郵送にて回答回収

### 【若者調査】

調査時期：令和4年10月～令和4年12月

調査方法：千葉県文化振興課より学校を通じて調査依頼し、回答回収

中学…各学校にて回答回収

高等学校・大学…ちば電子申請サービスにてWeb回答

### 【アーティスト調査】

調査時期：令和4年12月

調査方法：千葉県文化振興課にて千葉市にゆかりのあるアーティストを抽出・調査依頼し、ちば電子申請サービスにてWeb回答

## 1. 3 回収結果

得られた回答数を以下に示す。票（回収率％）の回答が得られた。

表 1 アンケート回答数

	対象者	実施時期	形式	回収数（率）
市民調査	千葉市在住の20歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出）2000人	R4年11月	紙・WEB	633（31.7%）
文化芸術団体調査	千葉市内を拠点として活動する芸術・文化団体20団体	R4年11月	紙	13（65.0%）
若者調査	千葉市内の中・高・大 中学校 4校 高校 2校 大学 12校	R4年10月～12月	紙・WEB	657
アーティスト調査	千葉市内にゆかりのあるアーティスト 59人	R4年12月	WEB	13（22.0%）

## 2. 調査のまとめ

市民意識（市民・文化芸術団体・若者・アーティスト）調査結果より、以下について明らかとなった。

### ①文化芸術振興のために重点をおくべきこと

- ・「千葉市が文化的なまちだと思うか」は、前回調査時の 28.5%より 6.2 ポイント上昇し、34.7%まで上昇したものの、3分の1程度に留まっている（参照 6 頁・図 1、図 2）。「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」は、市民、文化芸術団体及び若者に共通して、気軽に文化芸術を楽しむ催しの充実を求める人が多い（参照 7 頁・図 3、8 頁・図 4）。
- ・「文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度」の肯定層は、49.9%である（参照 9 頁・図 5）。  
「文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題」は、市民は情報を入手しにくいと感じている人が多く、若者は鑑賞・体験したいものがないと感じている人が多い（参照 9 頁・図 6、10 頁・図 7）。
- ・「文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること」としては、市民は現地で鑑賞・体験する機会や鑑賞・体験する機会の情報発信を期待し（参照 10 頁・図 8）、若者は、参加費の安い（無料）鑑賞・体験機会の増加を期待している（参照 11 頁・図 9）。
- ・「市民参加を活性化する取り組み」について、現在行っているや今後行っていくと回答した文化芸術団体は 61.6%である（参照 11 頁・図 10）。その具体的な内容は、市民が楽しめる分かりやすい内容となるような公演内容の工夫やワークショップや体験会の開催等が挙げられた。
- ・「今後実施したい広報活動」としては、文化芸術団体は市政だよりも 84.6%で一番多いものの、ホームページや SNS は前回調査時の 38.5%から 15.3 ポイント上昇し、53.8%となった（参照 12 頁・図 11）。
- ・アーティストの求める「市に行ってほしいアーティスト支援」は、活動費の補助が最も高いが、次いで発表・展示の場の提供である（参照 12 頁・図 12）。
- ・若者の「文化芸術の学習で期待すること」は、現地に行き、コンサートや展示などを直接鑑賞する機会が一番多い（参照 13 頁・図 13）。

### ②主体的な文化芸術活動を進めるために重要なこと

- ・市民の「文化芸術にどのように取り組んでいきたいか」は、趣味の範囲で活動していきたいといった能動的な回答が 33.6%あった（参照 13 頁・図 14）。
- ・市民が「活動する上で千葉市に望むこと」は、身近な教室や講座が欲しいや同じ趣味を持つ人と交流を図りたいが多い（参照 14 頁・図 15）。文化芸術団体は、「活動する上での課題」を、文化活動を行う人の発掘が不足していると把握している（参照 14

頁・図 16)。アーティストは「市に行ってほしい支援」として、活動費の補助を求めている（参照 12 頁、図 12）。

- ・文化芸術団体は、「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市民が気軽に文化芸術に親しむ身近な催しの充実や市民の文化芸術活動場所の充実と考えている（参照 7 頁・図 3）。
- ・「子どもや若者が加入する取り組み、育成する取り組み」は、文化芸術団体の半数以上の 53.8%が行っていると回答している（参照 15 頁・図 17）。具体的な取り組みは、地域の子どもたちに練習の機会を設けている、ワークショップの実施等である。

### ③アーティストの育成・支援・活用について

- ・「文化芸術振興のために重点を置くべきこと」として、文化芸術団体 38.5%が子ども達の文化芸術体験の充実と回答している。アーティストの半数以上 53.8%は、若手アーティストや作家の育成支援と回答している（参照 7 頁・図 3）。
- ・「若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援」として発表の場の提供と回答したのは、市民の 49.8%で 1 位、若者も 41.1%で 1 位である（参照 15 頁・図 18）。
- ・「若手アーティスト活躍のためにできること」として、市民は、コンサートや作品の展示会への参加、作品の購入が 59.2%で一番多い。若者の回答は、SNS 等での周知が 49.0%で一番多い（参照 15 頁・図 19）。
- ・「市に行ってほしいアーティスト支援」として、アーティストは、活動費の補助や発表・展示場所の提供を望んでいる（参照 12 頁、図 12）。
- ・「市ゆかりのアーティストの活躍」は、市民の 83.9%が感じられない、と回答している（参照 16 頁・図 20）。
- ・「市ゆかりのアーティストへの期待」の内容は、市民は、活躍した分野の認知度の向上と参加者の増や千葉市の知名度向上が 29.9%で 1 位である。若者は、市ゆかりのアーティストの高い技術へ触れる機会の増が 38.7%で 1 位である（参照 16 頁・図 21）。

### ④文化芸術に求めるもの

- ・「文化芸術に期待する千葉市に与える効果」として、観光資源として市外からの来訪者増と回答したのは、市民は 33.0%で 1 位、若者は 28.3%で 2 位、アーティストは 23.1%で 2 位である（参照 17 頁・図 22）。
- ・「重点的に連携すべき分野」の回答の 1 位と 2 位は、市民は経済 53.4%、自然 40.9%である。文化芸術団体は、子ども 76.9%、経済 23.1%、歴史 23.1%、福祉 23.1%である。若者は、経済 70.0%、スポーツ 44.6%である。アーティストは、経済 46.2%、歴史 38.5%である（参照 17 頁・図 23）。
- ・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市内外から多くの人が訪れる

音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催と回答したのは、市民は 36.2%で3位、若者は 21.8%で2位である（参照7頁・図3）。

#### ⑤千葉市にとっての文化芸術とは

- ・「文化芸術に千葉市らしさを感じられるか」は、市民の 75%が否定層である（参照18頁・図24）。
- ・「文化芸術が市に与える効果として期待するもの」として千葉市らしさの創出と回答したのは、市民は 25.6%で2位、若者は 38.5%で1位である（参照17頁・図22）。
- ・「文化芸術振興のために重点をおくべきこと」として、市内外から多くの人を訪れる音楽祭、芸術祭などの文化的行事の開催と回答したのは、市民は 30.2%で3位、若者は 21.8%で3位である。アーティストは、新しい文化芸術への取り組み・支援と回答したのは、30.8%で3位である（参照7頁・図3、8頁・図4）。
- ・「歴史的な文化財の活用について」について、市民は歴史的に価値のあるものを鑑賞したり触れたりする機会を創出するために活用の回答が 31.3%で1位、歴史等を学び、継承してくために活用が 27.6%で2位である（参照18頁・図25）。
- ・「千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの」について、市民は歴史・文化財と回答したのは 45.5%で2位である（参照19頁・図26）。
- ・「千葉市の文化振興を活発化していくために重点的に連携すべき分野」として歴史と回答したのは、市民は 33.3%で3位、アーティストは 38.5%で2位である（参照17頁・図23）。

### 3. 参考

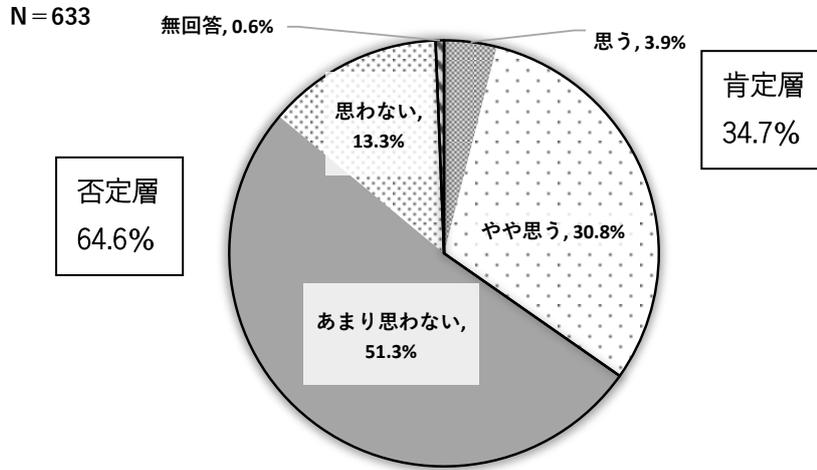


図 1 【市民】千葉市が文化的なまちだと思うか

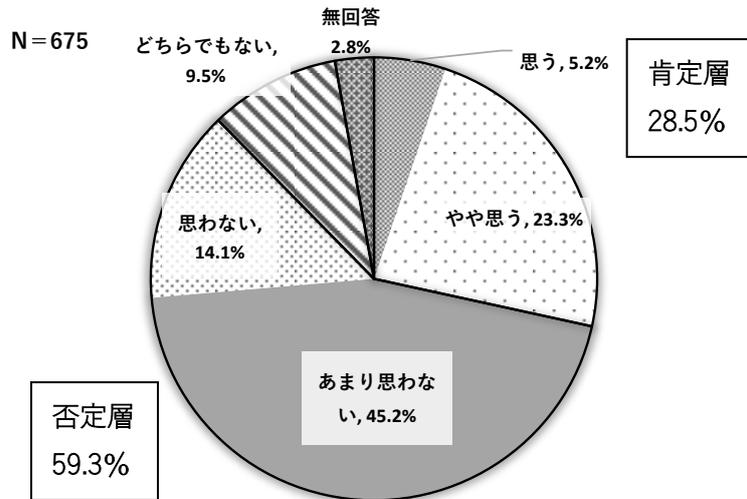


図 2 【市民】千葉市が文化的なまちだと思うか（前回平成 26 年調査結果）

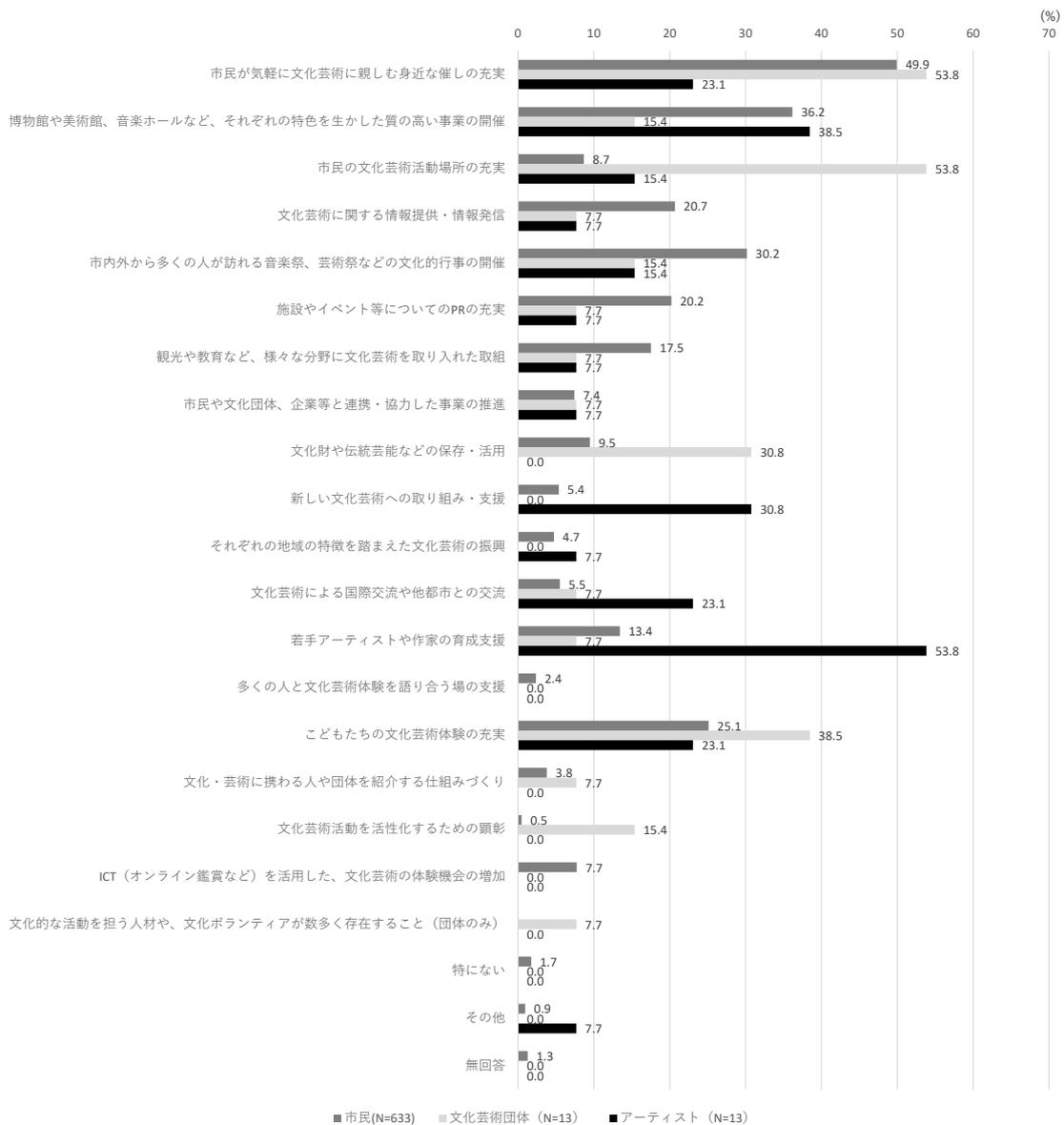


図 3 【市民・文化芸術団体・アーティスト】文化芸術振興のために重点をおくべきこと

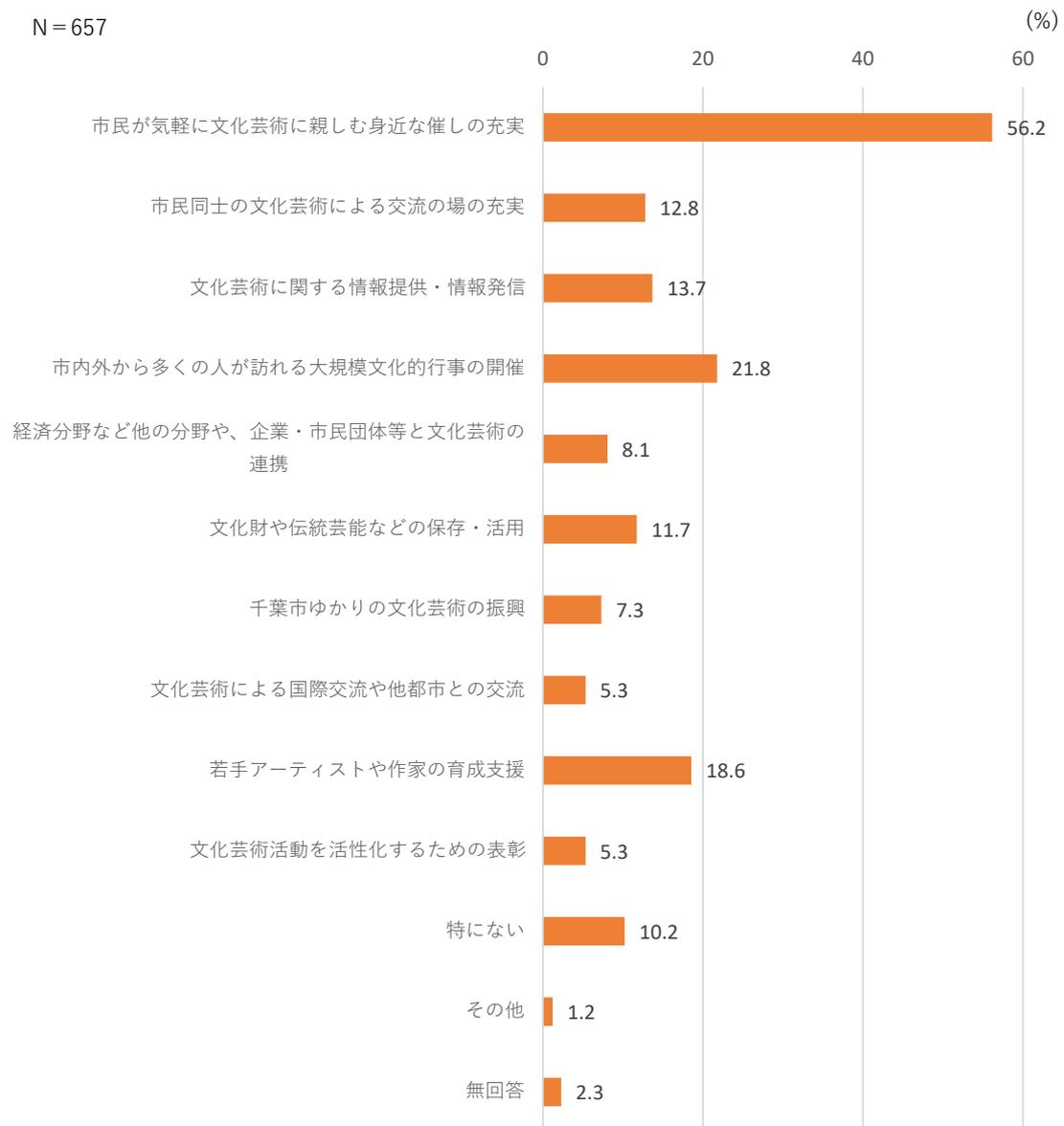


図 4 【若者】文化芸術振興のために重点をおくべきこと

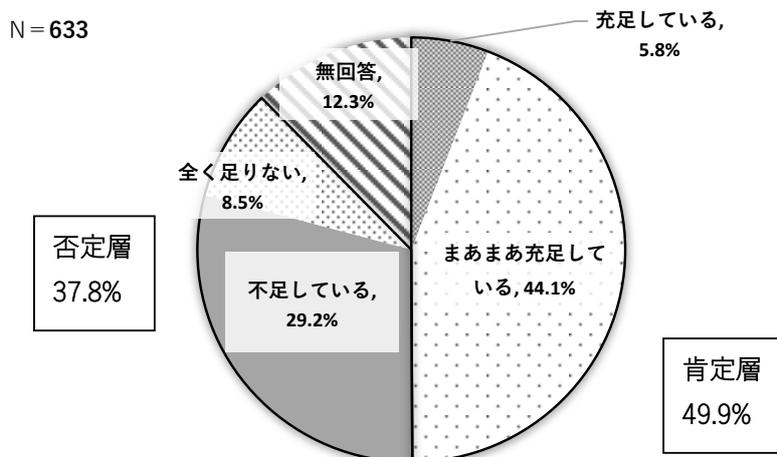


図 5 【市民】千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験機会の充足度

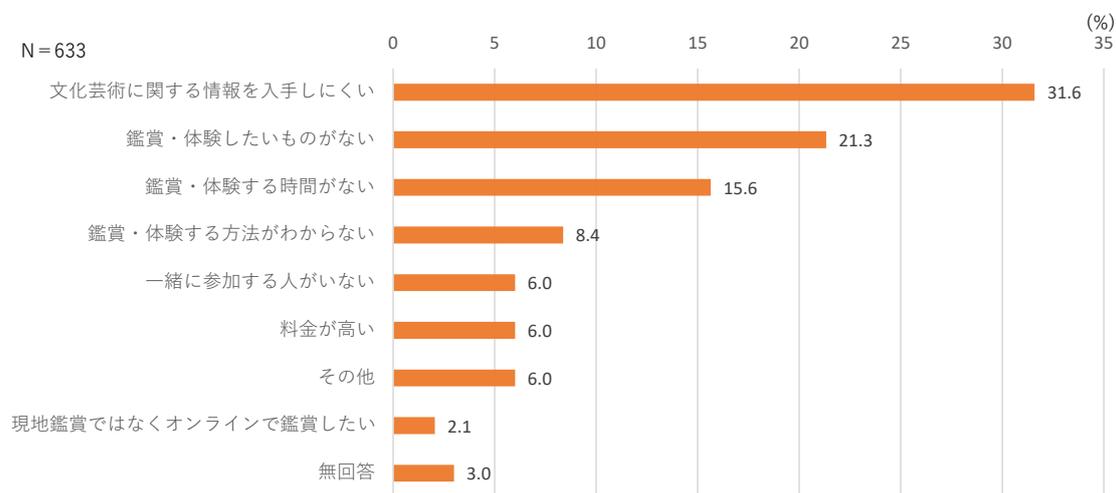


図 6 【市民】千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題

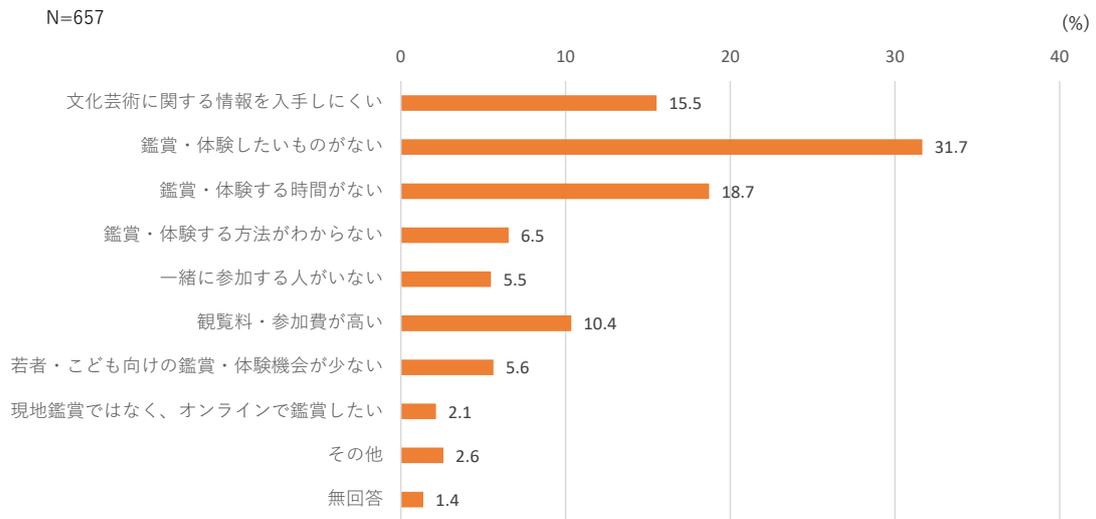


図 7 【若者】千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験にあたっての課題

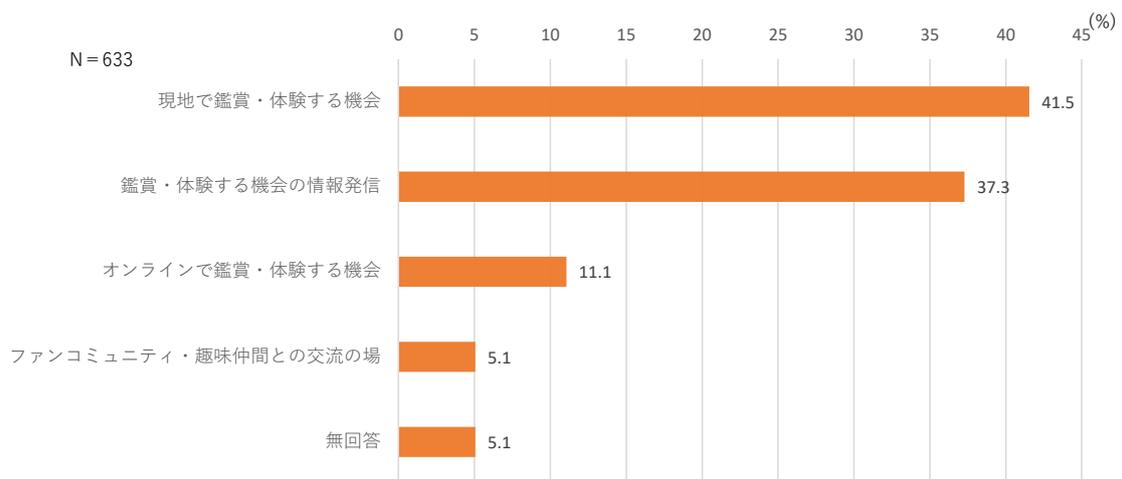


図 8 【市民】千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること

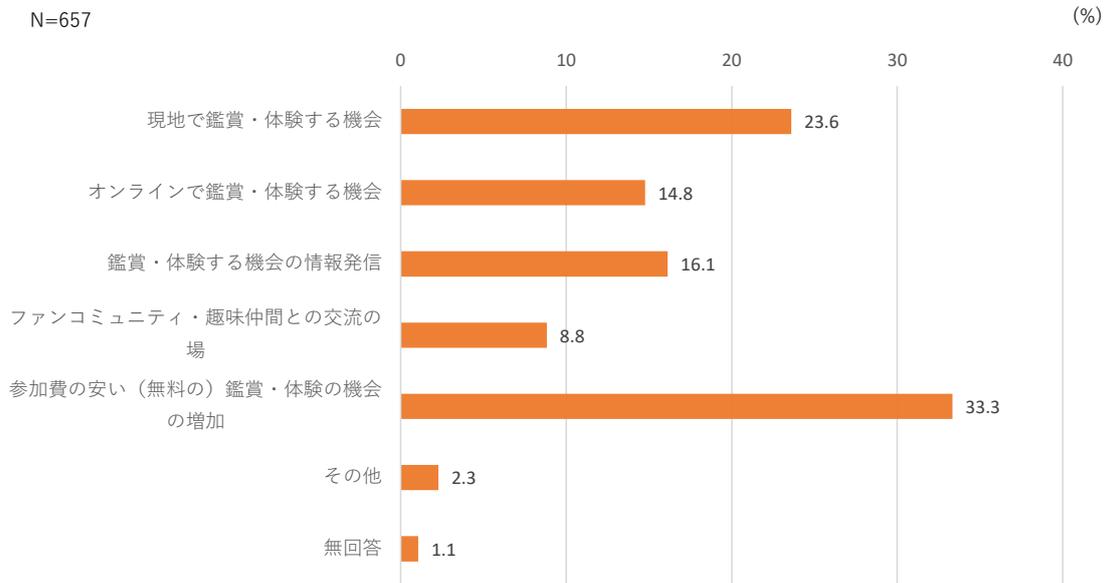


図 9 【若者】 千葉市内での文化芸術の鑑賞・体験で今後期待すること

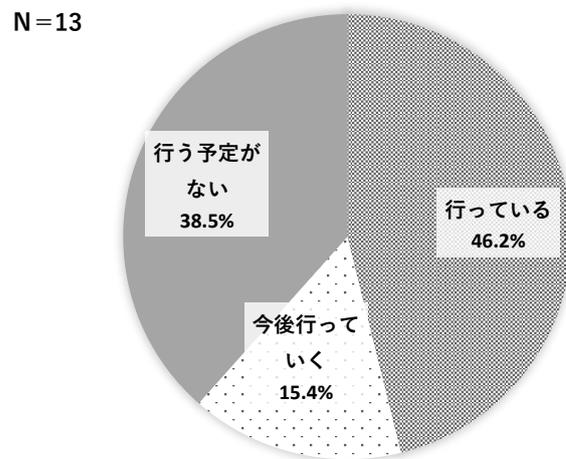


図 10 【文化芸術団体】 市民参加を活性化する取り組み

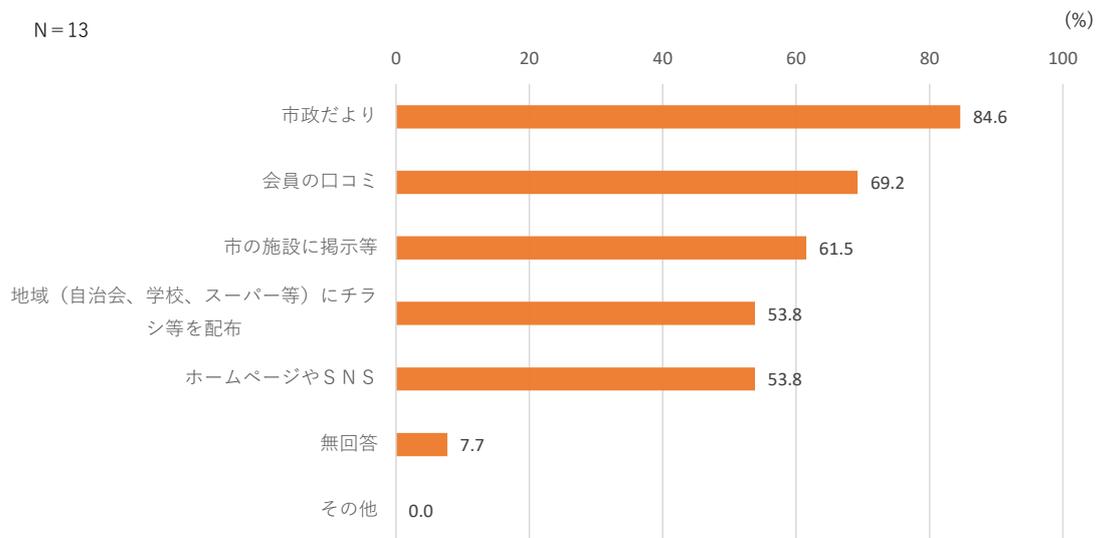


図 11 【文化芸術団体】今後実施したい広報活動

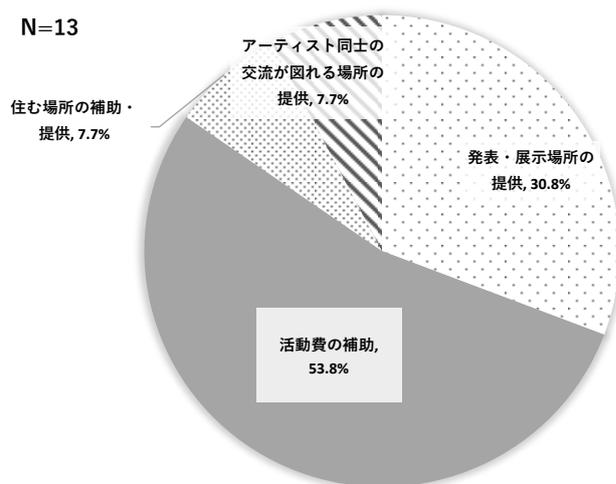


図 12 【アーティスト】市に行ってほしいアーティストへの支援は何か

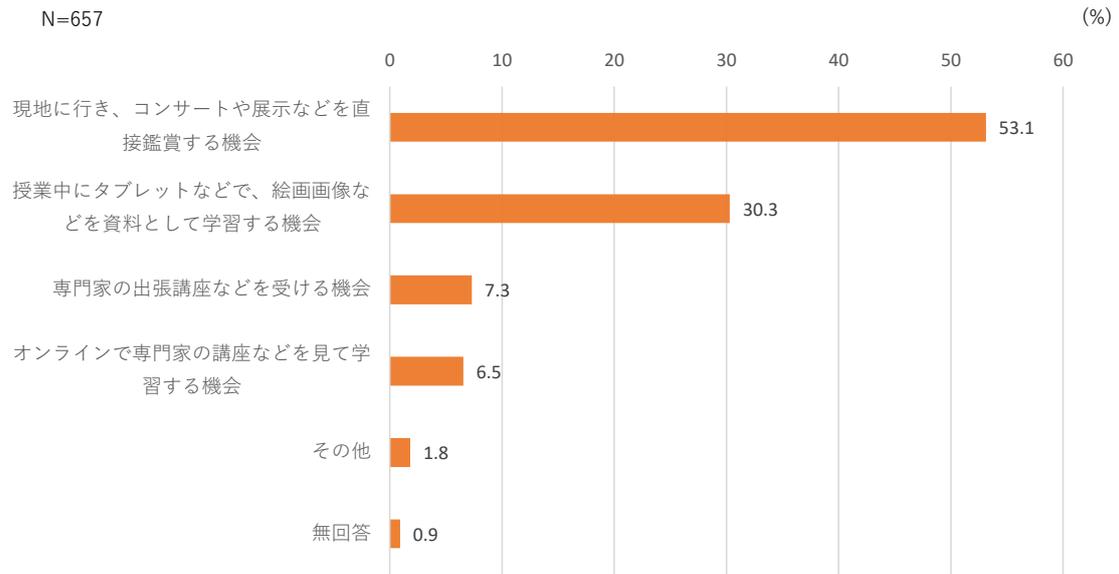


図 13 【若者】文化芸術の学習で今後期待すること

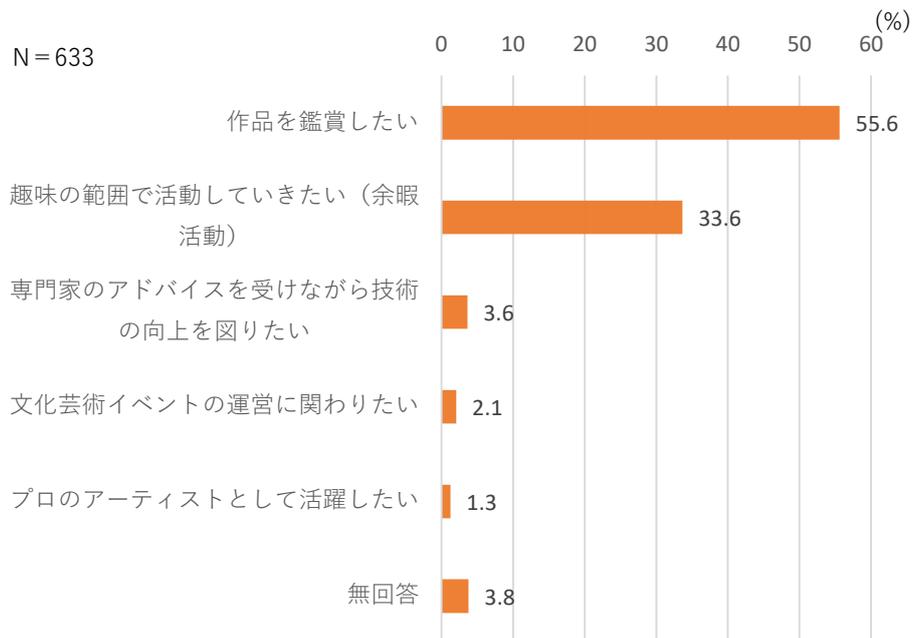


図 14 【市民】文化芸術に今後どのように取り組んでいきたいか

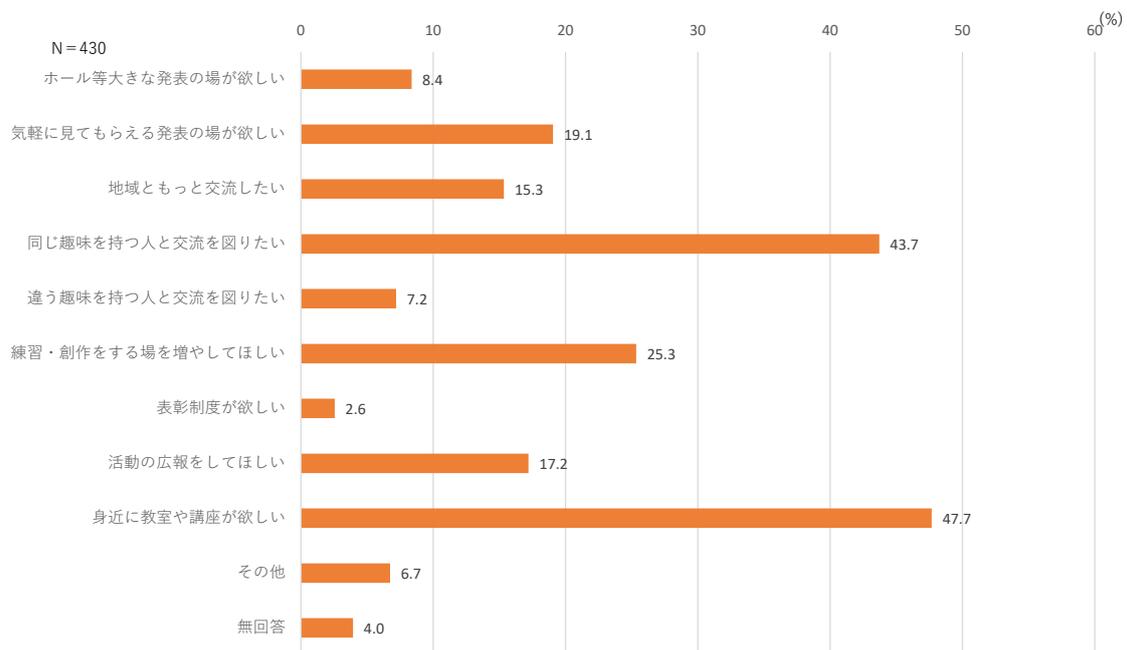


図 15 【市民】活動する上で望むこと

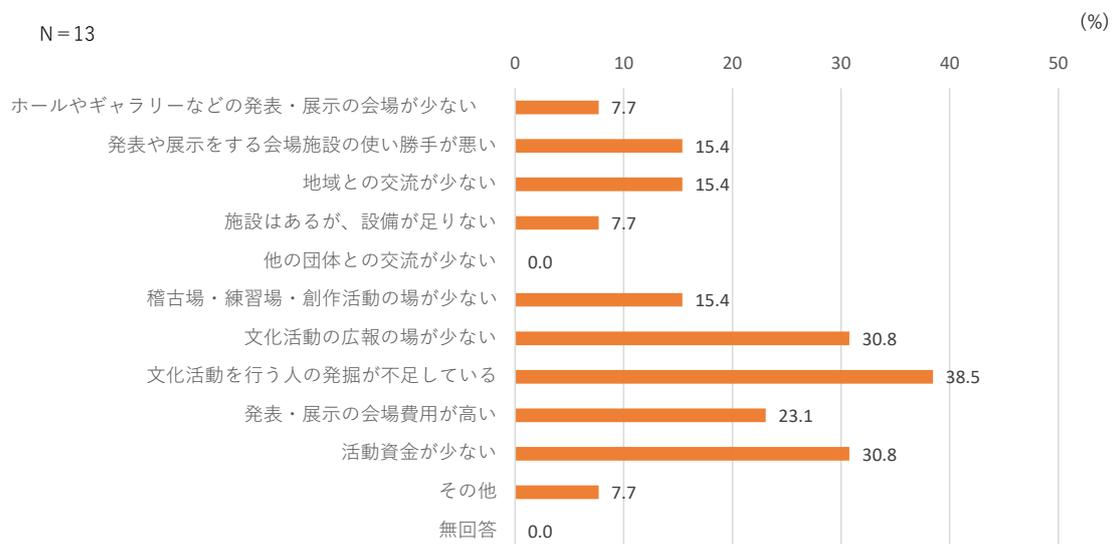


図 16 【文化芸術団体】活動する上での課題

N=13

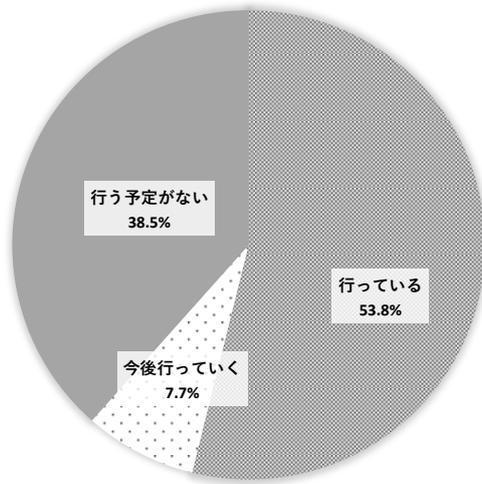


図 17 【文化芸術団体】子どもや若者が加入するための取り組みや育成するための取組

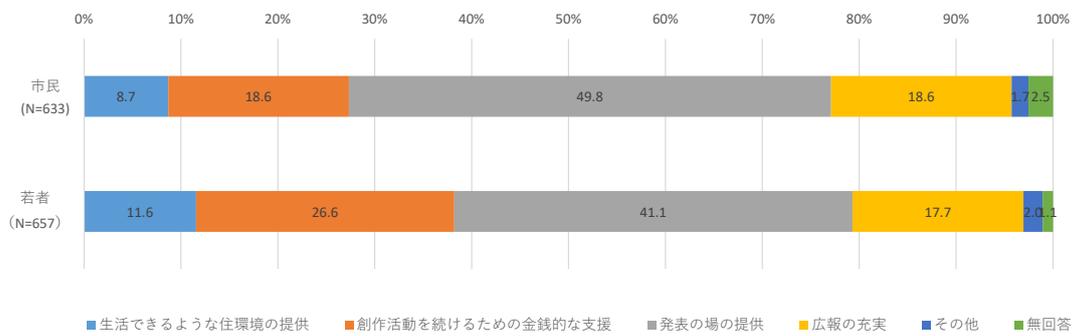


図 18 【市民・若者】若手アーティスト活躍のために市が行うべき支援

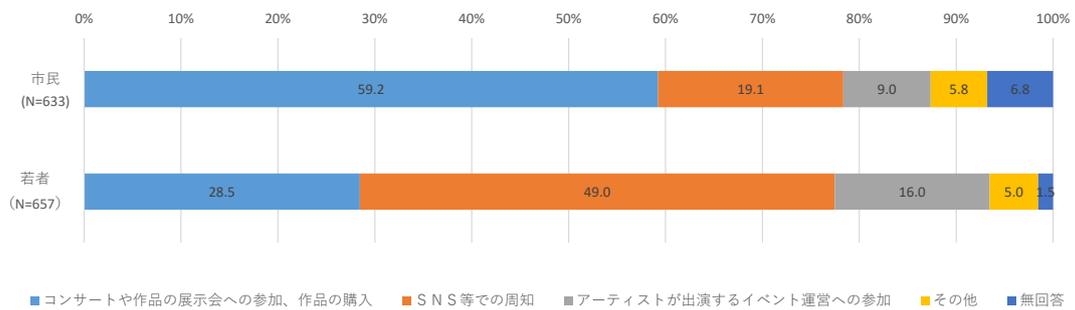


図 19 【市民・若者】若手アーティスト支援のためにできること

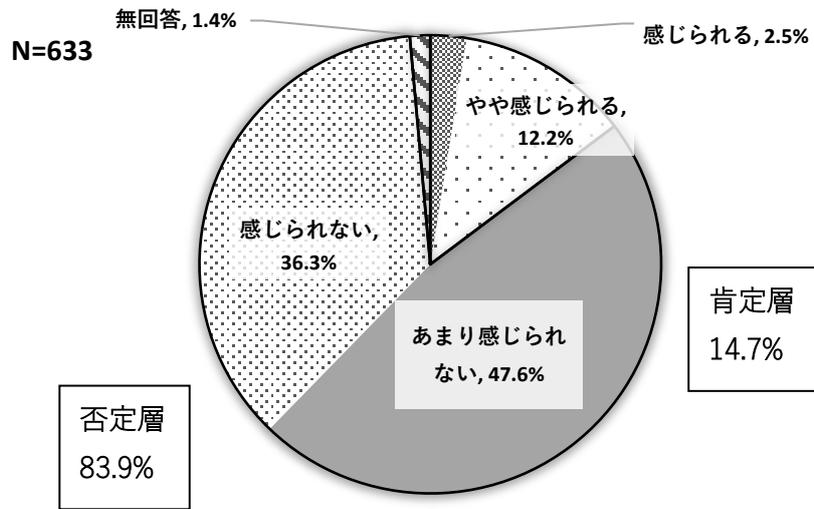


図 20 【市民】市ゆかりのアーティストの活躍

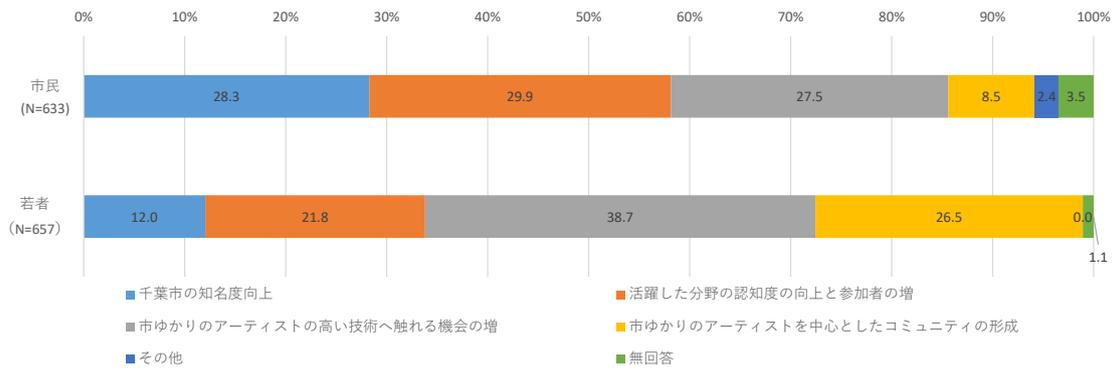


図 21 【市民・若者】市ゆかりのアーティストへの期待

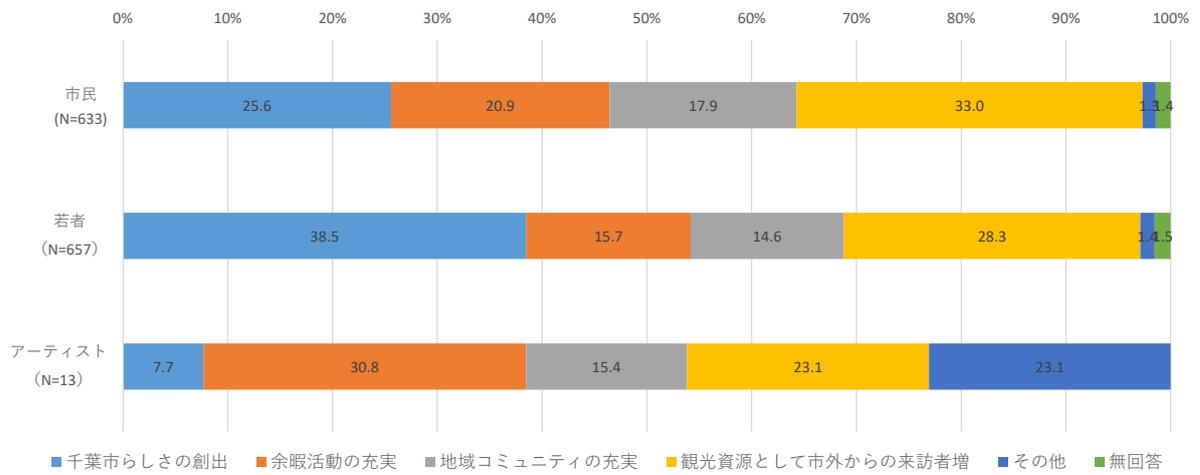


図 22 【市民・若者・アーティスト】文化芸術が市に与える効果として期待するもの

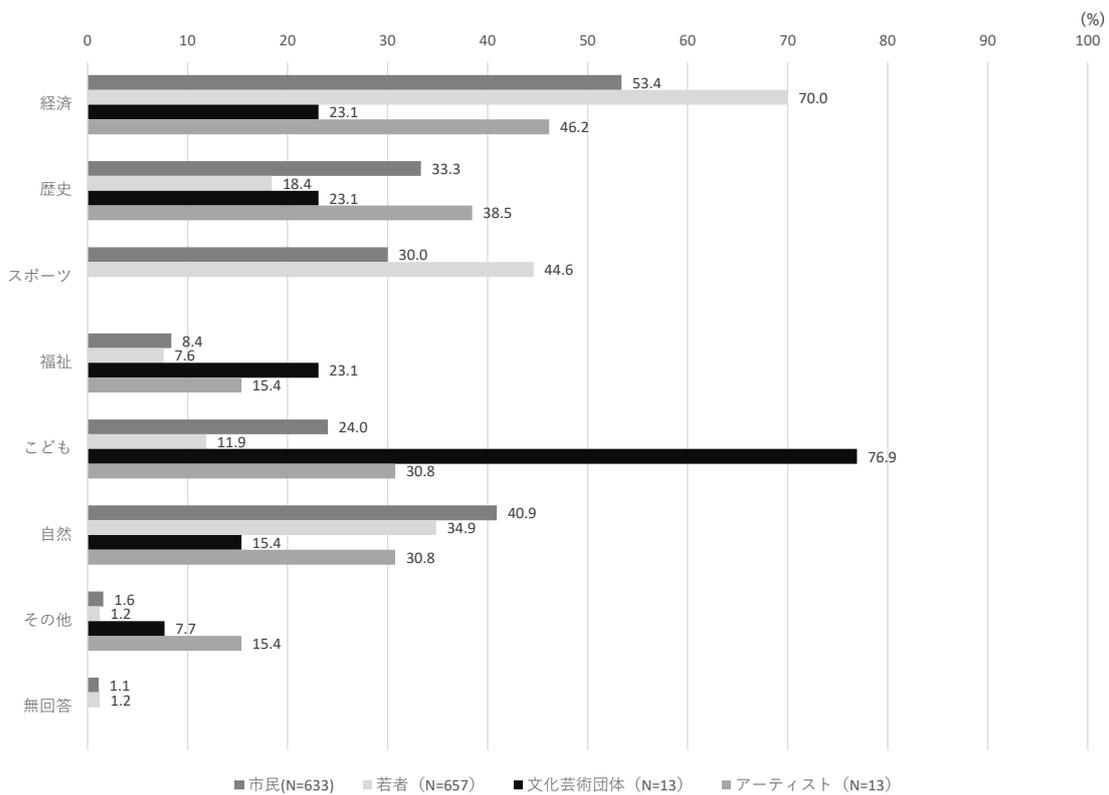


図 23 【市民・若者・文化芸術団体・アーティスト】重点的に連携すべき分野

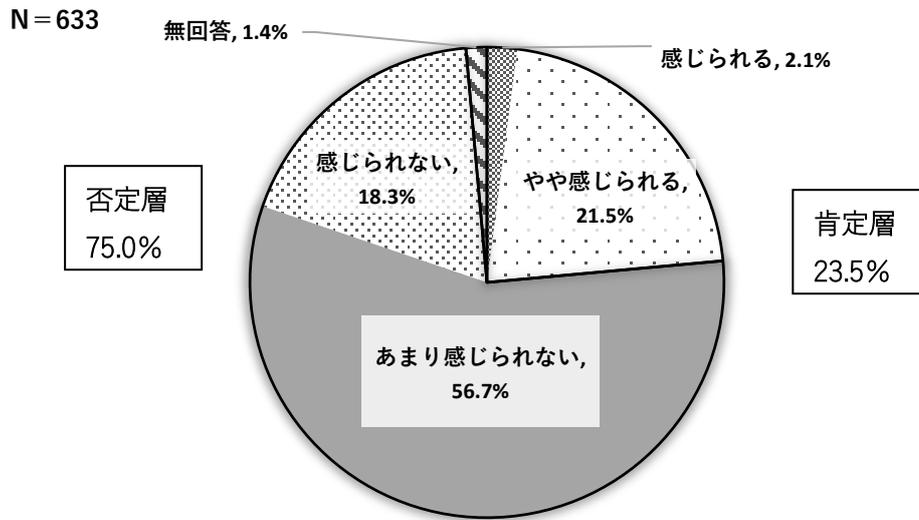


図 24 【市民】千葉市の文化芸術は千葉市らしさを感じられるか

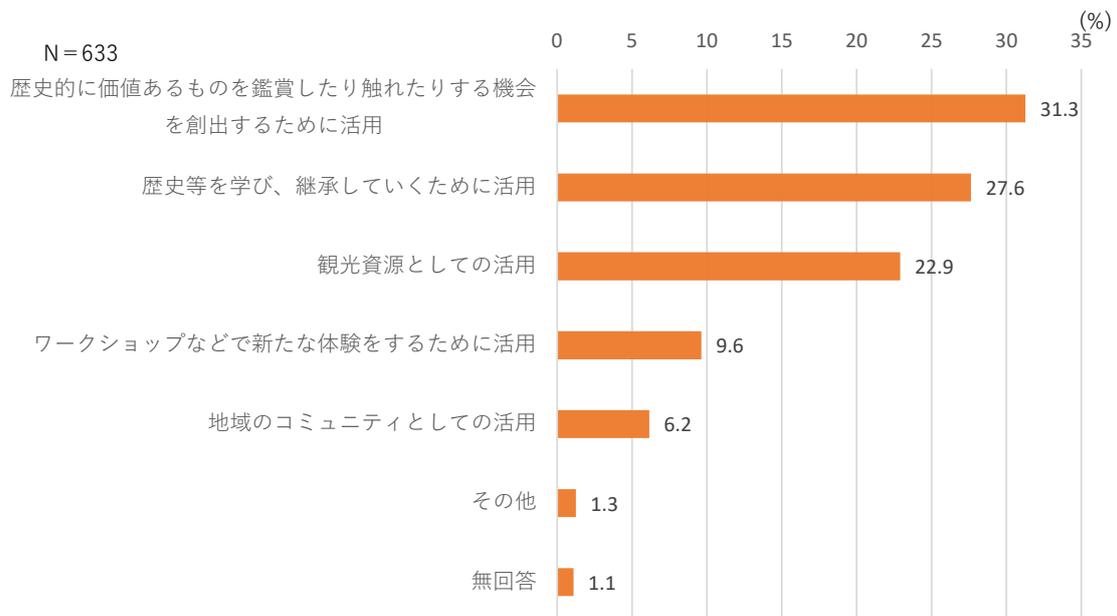


図 25 【市民】歴史的な文化財の活用

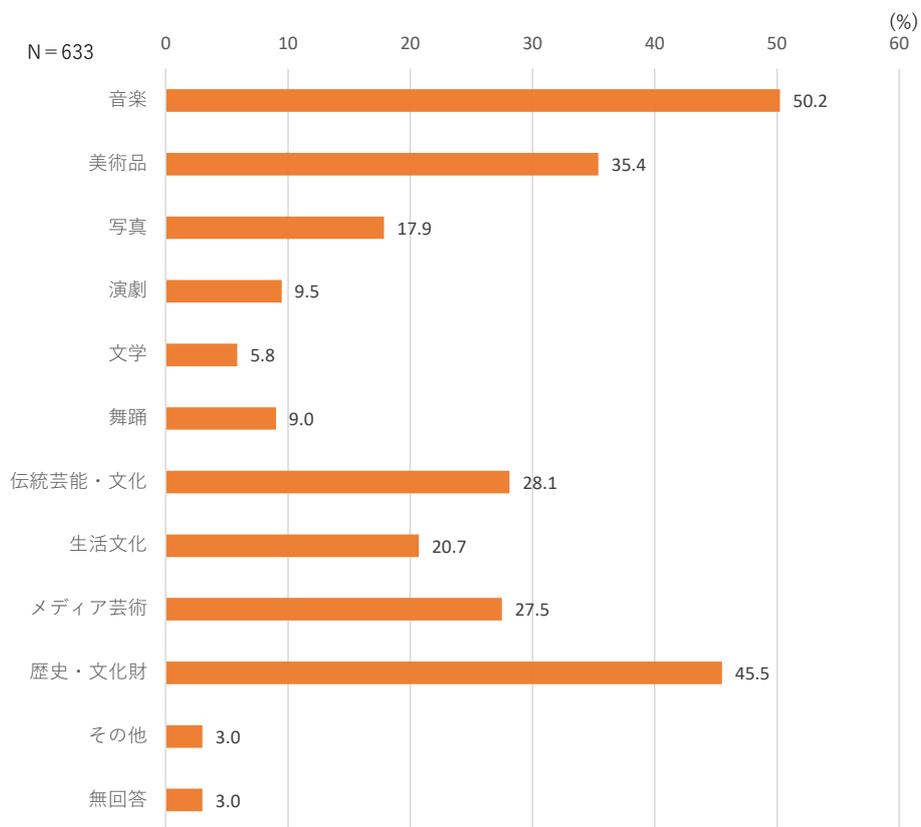


図 26 【市民】千葉市の文化芸術として広く発信すべきもの